

あいち山村振興ビジョン 2020

年次レポート（2021年（令和3年）度版）

～ 「やま・ひと・なりわい」を継承し、未来を創る ～



新城ラリー
(3月20日～3月21日)



国道301号松平バイパス 松平トンネル 開通式
(3月24日)

2021年（令和3年）7月



目 次

第1 作成の趣旨

作成の趣旨	1
めざすべき将来像と重点的施策.....	1
ビジョンの対象地域.....	2

第2 2020年（令和2年）度の主な取組状況

5つの重点的施策の展開

1 山里のひと・なりわいをつくる	3
2 地域資源を磨き上げる	6
3 安心・安全な地域社会をつくる.....	10
4 都市との絆を深める	13
5 持続可能な社会基盤を整備する	15

第3 「あいち山村振興ビジョン2020」の総括

「あいち山村振興ビジョン2020」の目標達成状況.....	20
1 山里のひと・なりわいをつくる	22
2 地域資源を磨き上げる	23
3 安心・安全な地域社会をつくる.....	24
4 都市との絆を深める	25
5 持続可能な社会基盤を整備する	26
データで見る計画期間中の変化.....	27

第1 作成の趣旨

○作成の趣旨

首都圏を中心とした「田園回帰」志向の高まりや新東名高速道路の開通など、新たな外部環境の変化に対応し、三河山間地域の振興を県全体の活力向上につなげるため、「**あいち山村振興ビジョン 2020**」（2016年（平成28年）2月）を策定し、2030年（令和12年）までを展望した上で、めざすべき将来像を「**愛知の元気の源・豊かな山の暮らしの実現**」としました。

「**あいち山村振興ビジョン 2020 年次レポート（2021年度版）**」では、計画の進捗管理のために、2020年度の各重点的施策に対する主な取組を報告するとともに、5年間（2016～2020年度）の計画期間中における取組を総括することで、2020年（令和2年）12月に策定しました「**あいち山村振興ビジョン 2025**」の施策展開につなげてまいります。

○めざすべき将来像と重点的施策

めざすべき将来像≪2030年（令和12年）頃の地域のめざす姿≫

愛知の元気の源・豊かな山の暮らしの実現

3つの展望の観点

- ① 山の暮らし ② 山の魅力・活力 ③ 都市との交流・連携

2020年（令和2年）に向けて取り組んでいくべき5つの重点的施策

① 山里のひと・なりわいをつくる

～山里の暮らしや地域づくりと一体となった「なりわいづくり」を推進していく～

② 地域資源を磨き上げる

～地域の自然や文化、歴史等の地域資源を磨き上げていく～

③ 安心・安全な地域社会をつくる

～暮らしを支える安心・安全な地域社会をつくっていく～

④ 都市との絆を深める

～多様な主体の連携のもとに都市との絆を深めていく～

⑤ 持続可能な社会基盤を整備する

～広域交通基盤の整備などの持続可能な社会基盤を整備していく～

〇ビジョンの対象地域



[人口]
105,146人 (2015 (H27) 国調)
[面積]
1,840 km²

第2 2020年（令和2年）度の主な取組状況

○5つの重点的施策の展開

1 山里のひと・なりわいをつくる

(1) 地域特性を活かした農林水産業の振興

<主な取組状況>

- 新型コロナウイルス感染症後の「新しい生活様式」に対応した農業生産に向けて、新城市のほうれんそう産地が作成した「**産地戦略**」に基づき、「**農作業省力化設備緊急整備事業**」を活用して支援した。【農業水産局園芸農産課】
- 林道事業により**林道の開設・改良・舗装**を、造林事業により**森林作業道の計画的な整備**を行った。【農林基盤局森林保全課】
- 内水面資源の増大を図るため、愛知県産の**放流用あゆ種苗 200万尾**を生産した。【農業水産局水産課】
- 新型コロナウイルス感染症の拡大による遊漁券の販売不振などにより、経営が悪化している河川漁業協同組合が実施する**あゆ放流事業**を支援した。【農業水産局水産課】
- 「**スマート林業**」推進の取組の一つとして、木材生産・流通の効率化を図るため、ICTを活用し木材の生産情報と流通情報をマッチングする「**木材需給情報システム**」を開発した。【農林基盤局林務課】
- 森林整備**に必要な**技術者の養成**を実施した。【農林基盤局林務課】



木材需給情報システムの
現場試験導入の様子
(豊根村上黒川地区)

(2) 農商工連携や6次産業化等の促進

<主な取組状況>

- あいち中小企業応援ファンド**により、地域資源の農林水産物を活用した中小企業者等の**新製品（商品）の開発**や**販路拡大等の事業**に対し**助成**を行った。【経済産業局産業振興課】
- 「**食を通じて豊かな心を育む**」こと等を目指し、「**愛知を食べる学校給食の日**」を年3回実施するとともに「**わが家の愛であ朝ごはんコンテスト**」を開催した。【教育委員会保健体育課】

(3) 地域課題等に取り組むNPOや企業等の活動促進

<主な取組状況>

- 地域の経済や雇用を担うNPO法人の資金調達を支援するため、2015年10月1日から新たに融資対象とした、**中小規模のNPO法人向けの金融支援を引き続き実施**した。【経済産業局中小企業金融課】
- 公共サービスを担うNPOを増やし、協働の裾野を広げていくため、NPOの人材育成に関する講座である「**NPOマネジメントスクール**」を開催した。【県民文化局社会活動推進課】

(4) 担い手人材の育成支援

<主な取組状況>

- 三河の山里で起業を目指す「なりわい実践者」を募集し、選考で選ばれた10名のなりわい実践者に対し**起業者向けのセミナーを年7回実施**した。【総務局市町村課地域振興室】



起業者向けセミナー

(Hoo!Hoo! : 7月30日)

月 日	概 要
7月9日(木)	チームビルディングと目標設定
7月10日(金)	目標設定とKPI設定
7月30日(木)	会計・財務・税務セミナー
8月5日(水)	収支計画立案のためのワークショップ
8月12日(水)	
1月7日(木)	プレゼン合宿
1月8日(金)	
1月28日(木)	ファンをつくる！事業が広がる！プロモーション講座
2月24日(水)	コロナ禍における起業と運営

○三河山間地域の市町村、J A、その他関係機関などが連携して、**現地説明会や就農相談会を開催**した。

【農業水産局農業経営課】



新規就農相談会

(豊田加茂総合庁舎：10月24日)

○愛知県林業労働力確保支援センター等と連携し、「**森林の仕事ガイダンス**」等において**就業相談活動を実施**したほか、**林業技術者の育成研修など**を開催した。

【農林基盤局林務課】



森林の仕事ガイダンス

(名古屋国際センター：10月24日)

2 地域資源を磨き上げる

(1) 山里観光の広域的推進

< 主な取組状況 >

- 誘客イベントの実施を通し、三河山間地域の魅力発信、誘客促進に取り組んだ。

【総務局市町村課地域振興室】

- 奥三河の観光事業者等を対象に With コロナ時代の観光等に係る実践的なセミナーである「奥三河観光まちづくり塾」を2回開催した。

【東三河総局新城設楽振興事務所】



誘客イベント

(11月1日～12月20日)

- 奥三河の認知度とブランド力を向上させるため、奥三河の「美と健康」に着目したブランド「okumikawAwake/メザメ奥三河」のプロモーションを実施した。

【東三河総局新城設楽振興事務所】



okumikawAwake 商品を使用し開発したアスリート向けレシピ

- 奥三河地域における地域資源の魅力を発信するため、奥三河4市町村の観光施設をつなぐスタンプラリーを実施した。

【東三河総局新城設楽振興事務所】



綺麗と出逢う、故郷を巡る、奥三河スタンプラリー。

- 奥三河ふるさと写真集「Yell（エール）」に、「okumikawAwake/メザメ奥三河」の紹介を加えてリニューアルし、地元出身の若者に向け、**成人式等で配布**した。

【東三河総局新城設楽振興事務所】



奥三河ふるさと写真集「Yell（エール）」

- 外国人等に対し、**奥三河の観光スポットなどについて**、多言語によるコラムを観光ナビサイトやSNS等で情報発信するとともにイベントなどで**効果的なPR活動を実施**した。

【東三河総局新城設楽振興事務所】



観光ナビサイトに掲載した多言語コラム
(VISIT OKUMIKAWA)

- 2020年4月に開催を予定していた「**第6回奥三河パワートレイル**」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。継続的な大会とするため、**コースの見直し等、課題の整理や検討を実施**した。

【スポーツ局スポーツ振興課】

- 国内ラリー競技最高峰の全日本ラリー選手権「**新城ラリー**」を、3月20日、21日に**県営新城総合公園をメイン会場として開催**した（新型コロナウイルス感染症の影響により無観客にて開催）。

【スポーツ局スポーツ振興課】

- 2020年11月の開催を予定していた「**FIA世界ラリー選手権ラリージャパン**」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。2021年度大会に向け、関係者との調整を進めるとともに、大会盛り上げのための**プレイベントを実施**した。 【スポーツ局スポーツ振興課】

- 地元河川がもつ多面的機能の理解促進を図るため、小学生等を対象として河川で**あゆの体験放流と学習会**を行った。【農業水産局水産課】

(2) 伝統文化の継承・発信

<主な取組状況>

- 愛知県国登録有形文化財活用事業で**国登録有形文化財建物特別公開イベント**を実施し、新城市の**大野宿鳳来館・旧料亭菊水**をライブ配信にて公開し、**建築の専門家による建物解説**を行った。【県民文化局文化芸術課文化財室】

(3) 自然環境の保全・利用

<主な取組状況>

- 愛知県**自然環境保全地域**の一つである**田之土里湿原**^{たのしりしづげん}において、地元の活動団体と協力して、散策路の草刈りや低木の伐採、石畳の目地に詰まった土の除去などの**保全作業**を行った。【環境局自然環境課】



田之土里湿原保全作業
(11月11日)

(4) 生物多様性の保全

<主な取組状況>

- 「**あいち森と緑づくり税**」を活用し、市町村やNPO等が行う自発的な**森と緑の保全活動や環境学習**に対し**助成**した。【環境局自然環境課】
- 「**森・生きもの・人が共生する持続可能な地域づくり**」の実現方策を探るため、**新城設楽生態系ネットワーク形成フォーラム**を開催した（新城設楽生態系ネットワーク議会主催）。【環境局自然環境課】



新城設楽生態系ネットワーク形成フォーラム
(11月7日)

(5) 鳥獣害対策の推進

<主な取組状況>

- 農作物鳥獣被害防止対策費により、市町村の鳥獣被害防止計画に基づく**有害鳥獣の捕獲活動等を支援**した。また、豚熱対策として**イノシシ捕獲の支援を強化**し、イノシシの捕獲に係る国庫補助（7,000円/頭）に**県単独補助（13,000円/頭）を上乗せした。** 【農業水産局農業振興課野生イノシシ対策室】

- 狩猟免許試験を実施した。（2回） 【環境局自然環境課】

- 豚熱感染確認区域におけるジビエ利用やシカ肉利用拡大のための**施設間輸送の検証を実施**するとともに、**愛知産ジビエの新たな販路拡大を支援**した。
【農業水産局農業振興課】

3 安心・安全な地域社会をつくる

(1) 生活基盤の確保・充実

<主な取組状況>

○三河山間地域における**路線バス等**を運行する市町村に対し、その**運行に要する経費の一部を補助**することで、交通基盤の確保・維持に努めた。

【総務局市町村課地域振興室】

(2) 地域に根ざした教育環境づくり

<主な取組状況>

○北設楽郡の中学校を卒業した知的障害のある生徒を対象とする**豊橋特別支援学校山嶺教室**さんれいきょうしつにおいて、**地域に根ざした特色ある教育を推進**した。

【教育委員会特別支援教育課】

○へき地教育振興費補助金として、設楽町の**スクールバス運営に係る経費について補助を実施**した（**過疎地域スクールバス運営費補助金**）。

【教育委員会義務教育課】

○田口高校、新城東高校作手校舎、設楽中学校、津具中学校、豊根中学校、東栄中学校及び作手中学校との間で、故郷への愛情と誇りを育む**ふるさと交流活動等を実施**した（**三河山間地域連携教育推進事業**）。

【教育委員会高等学校教育課】



三河山間地域連携教育推進事業の様子

○へき地教育振興費補助金（「ふるさと出会いの創造」**推進事業費補助金**）により学びの場（**文化・芸術鑑賞等**）・交流の場（**都市部の児童生徒との交流等**）・体験の場（**都市型体験学習等**）を設定し、活動する**取組への補助**を行った。

【教育委員会義務教育課】

(3) 女性や高齢者の活躍促進

<主な取組状況>

- あいち女性の活躍促進会議の構成団体と連携し、企業トップの更なる意識改革を図るため**あいち女性の活躍促進サミット2020**を開催した。また、サミットの中で、「**あいち女性輝きカンパニー**」優良企業表彰式を実施した。

参加者数：305名

【県民文化局男女共同参画推進課】



あいち女性の活躍促進サミット2020
(ホテルルブラ王山：11月6日)

- 女性の活躍促進に向けた取組を積極的に実施する企業を「**あいち女性輝きカンパニー**」として**認証**した。

認証企業数：736社（2021年4月1日現在）

【県民文化局男女共同参画推進課】

- 「女性が元気に働き続けられる愛知」の実現に向け、働く場における女性の「定着」と「活躍」の拡大を図るため、県庁内に副知事をリーダーに、関係事業監及び課室長をメンバーとする部局横断的なプロジェクトチームを設置（2013年9月～）し、全庁を挙げて**あいち女性の活躍促進プロジェクト**を推進した。

【県民文化局男女共同参画推進課】

(4) 子育て支援の充実

<主な取組状況>

- 子育て応援の日（はぐみんデー）**普及推進強化月間である11月に、「子育て応援の日（はぐみんデー）」をきっかけに社会全体で子育てを応援する機運を醸成するため、**主要駅にポスターを掲出し普及啓発**を行った。

【福祉局子育て支援課】

- 「小1の壁」の解消を図るため、**放課後児童クラブを整備**することを目的に**新たな施設の整備や小学校の余裕教室等の改修に必要な費用を補助**した。

【福祉局子育て支援課】

○特に保育料の高い3歳未満児のうち、第三子以降児の**保育料を無料化又は軽減する市町村への補助**を行うことにより、育児と就労の両立支援を図った。

【福祉局子育て支援課】

(5) 保健医療福祉サービスの充実

<主な取組状況>

○豊根村からの依頼により、豊根村診療所及び豊根村保健センターと連携し**へき地保健栄養指導（個別栄養相談）を実施**した。

【保健医療局健康対策課】

○**ドクターヘリの運航に対する財政支援**を行った。

【保健医療局医務課】



愛知県ドクターヘリ

○へき地の医療確保を目的に、へき地医療拠点病院が**へき地診療所へ行く医師派遣等にかかる経費の助成**を実施した。

【保健医療局医務課地域医療支援室】

(6) 集落間の連携強化

<主な取組状況>

○地元市町村、観光協会、企業等が参画する「**あいちの山里関係人口創出研究会**」を設置し、**ふるさと兼業に係る勉強会**を11月16日に行った。

【総務局市町村課地域振興室】

4 都市との絆を深める

(1) 戦略的な情報発信

<主な取組状況>

- 中京**テレビ**での「前略、大とくさん」、「出張、HONJO! 神社」、「ぐっと」、「ボイメンジャパネスク」、のコーナー（合計 13 本）の放送や**WEB**、**SNS**により**情報発信**を行った。【総務局市町村課地域振興室】



Twitter

Facebook

- 産業観光・武将観光等の施設を紹介する**パンフレット**を作成し、**スタンプラリー**を組み合わせることで、**県内の観光資源の魅力発信及び、周遊促進**を図った。【観光コンベンション局観光振興課】

(2) 移住・定住の促進

<主な取組状況>

- 起業支援、移住定住促進等を行う**三河の山里サポートデスク**を新城市内に設置し、**愛知県交流居住センター**と協力し**移住定住促進**に取り組んだ。

【総務局市町村課地域振興室】



三河の山里サポートデスク事業

○将来を考え始める小学生が、奥三河地域の企業に出向いて取材を行った上で、企業紹介CMを作成する「奥三河魅力発見プログラム事業」を実施し、この地域で働くことや将来のUターンを選択肢として意識づけるよう取り組んだ。

【東三河総局新城設楽振興事務所】

○首都圏等からのU I Jターン希望者に対し、個別相談を行うほか、県内企業の求人情報や地域情報の提供により、本県への転入・就職の支援を実施した。

【労働局就業促進課】

(3) 流域圏等の連携強化

<主な取組状況>

○「地域活性化に向けた戦略的展開～「食」、「健康」、「ローカル鉄道」の新展開～」をテーマに主要プロジェクト推進プランを策定し、東三河振興ビジョンの推進を図った。【東三河総局企画調整課】

○水源林保全活動等に取り組む市町村等への支援を行った。【建設局水資源課】

(4) 大都市等との連携推進

<主な取組状況>

○三河山間地域で活躍する人々を通して山里の魅力や暮らしを発信する「あいちの山里^{アントレ}Entre^{ストア}Store」を名古屋の星が丘テラスで開催した。

【総務局市町村課地域振興室】



アントレ ストア
あいちの山里Entre Store
(星が丘テラス：11月～12月)

(5) 多様な主体の連携促進

<主な取組状況>

○三河の山里サポートデスクを設置し、都市部住民と三河山間地域の集落をつなげる三河の山里集落応援隊の活動を6回行った。

新城市：5回（19人） 設楽町：1回（1人）

【総務局市町村課地域振興室】

5 持続可能な社会基盤を整備する

(1) 広域交通基盤の整備・強化

<主な取組状況>

- 三遠南信自動車道の県内唯一の未開通区間となる**東栄ICから鳳来峡IC間**において、国土交通省による事業の進捗が図られ、2021年4月27日に**2025年度の開通予定が公表**された。【建設局道路建設課】

- 三遠南信道路建設促進期成同盟会（愛知県は副会長）が**整備促進に係る要望活動**を国土交通省及び財務省などに対して行った。
(6月24日、11月19日)

【建設局道路建設課】



11月19日の要望活動

(国土交通省 岩井国土交通副大臣)

- 国道151号（新城バイパス）、国道257号（設楽町・バイパス整備等）、国道301号（松平バイパス）、国道420号（設楽町・拡幅工事等）、国道473号（豊田市・拡幅工事等）を中心に**整備**を行った。

【建設局道路建設課】



国道301号 松平バイパス

- 主要地方道**豊橋乗本線、阿南東栄線**を始めとする**県道の整備**を行った。

【建設局道路建設課】

(2) 公共交通の確保・充実

<主な取組状況>

- 三河山間地域における**路線バス**等を運行する市町村や企業に対して、その**運行に要する経費の一部を補助**することで、交通基盤の確保・維持に努めた。

【総務局市町村課地域振興室】 【都市・交通局交通対策課】

- J R 東海に対し、 I C カード乗車券の未導入区間の解消に努めること、北設楽地域の玄関口である東栄駅への特急列車の停車を実施すること、サイクルトレイン導入、各種イベントや情報発信を通じた**魅力ある沿線の地域づくり**へ協力することについて要望した。【都市・交通局交通対策課】

(3) 情報通信基盤の拡充と I C T の利活用

< 主な取組状況 >

- 県内にある交通、宿泊施設、観光・防災拠点等へ**無料公衆無線 L A N 整備**の働きかけを行い、情報通信サービスの充実等を目的とした**整備促進活動**を実施した。【総務局情報政策課】
- **携帯電話基地局の整備**について、採算性の問題から携帯電話事業者の進出が進まない地区（新城市七郷一色区及び設楽町簗ノ子区）に対して、不感地域を解消するため、**財政面を含めた支援**を行った。【総務局情報政策課】
- へき地医療拠点病院がへき地診療所の診療活動等を援助することを目的に設置した、**へき地医療拠点病院とへき地診療所をつなぐ伝送装置の運用に係る経費の助成**を行った。【保健医療局医務課地域医療支援室】

(4) 農地・森林等の整備・保全

< 主な取組状況 >

- 中山間地域における農業生産性の向上を図るため、**農業用の用水路や排水路等の生産基盤の整備**を行った（**農地環境整備事業**）。【農林基盤局農地整備課】
- **設楽ダム**の水源地域の振興を図るため、設楽町が実施する**生活基盤整備等**に係る**事業への支援**を行った。【建設局水資源課】



農地環境整備事業 田峯地区（設楽町）

- **あいち森と緑づくり事業**等により、間伐や植栽など**森林整備を実施**した。

【農林基盤局森林保全課】



間伐による森林整備（設楽町）

- **内水面漁場の多面的機能の向上**を図るため、活動組織が実施する**漁場保全活動等への支援**を行った。【農業水産局水産課】

(5) 産業用地開発と立地促進

<主な取組状況>

- **豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業**を推進し、2021年3月にトヨタ自動車(株)へ全ての用地の引渡しを終えた。

【企業庁工務調整課】



西工区完了写真（全景）

- 企業立地推進活動の一環として、東京において、首都圏の企業を対象とした「**産業立地セミナー**」を開催した。

また、県内においても、県内企業を対象とし「**産業立地・再投資促進セミナー**」等を開催することで、広く本県の立地環境や優遇施策等についてPRを実施した。【経済産業局産業立地通商課】

(6) 防災・減災対策の推進

<主な取組状況>

- 農業用ため池の決壊による災害を未然に防止するため、**耐震整備等**を行った。

【農林基盤局農地整備課】



防災ダム事業 西宇利池地区（新城市）

○山地災害対策のため、治山ダム工や土留工などの
治山施設の整備を実施した。

【農林基盤局森林保全課】



治山ダム工（東栄町）

○豊田市や設楽町などで**土砂災害防止施設整備を実施**し、2020年度は、坂場区域（東栄町）など83か所について施設整備推進を図った。

【建設局砂防課】

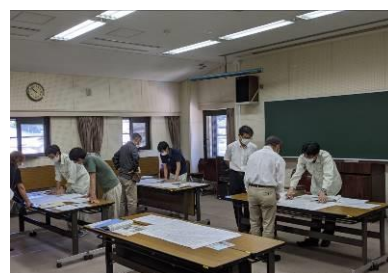


施設整備を推進した坂場区域（東栄町）

○市町村における**避難勧告等の基準づくりや見直し作業の支援**を行うとともに、避難勧告発令の判断基準となる防災気象情報等を活用するための**講習会を動画配信等により実施**した。 【防災安全局災害対策課】

○**土砂災害防止法**に基づく基礎調査結果の**地元説明会**を、一度に広い地域を対象として来場者の個々の事情に即した情報提供を行うことができる「**オープンハウス方式**」で開催し、周知・説明のスピードアップと住民の様々な疑問や相談に丁寧に対応していくことの両立を図っている。2020年度は、豊田市などで6回開催した。

【建設局砂防課】



豊田市足助・下山・旭地区地元説明会
（豊田市足助交流館：8月1日）

○大規模災害後の迅速な復旧・復興に備え、**地籍調査**に取り組む豊田市、新城市、設楽町に対する財政的支援を行った。そのうち豊田市及び新城市には、次の調査地区選定のため、**調査に関する情報提供や関係機関との調整などの支援**を行った。【都市・交通局都市計画課】

○**防災ヘリコプターの山間部における離着陸訓練を実施**し、山間部の環境・気象条件への対応や、**捜索・救助活動及び救急活動**に備えた。また、緊急運航時に地上消防隊と連携して**捜索・救助活動及び救急活動を実施**し、事案発生時における連携能力を相互に高めた。【防災安全局消防保安課】



防災ヘリコプター「わかしゃち」

(7) 再生可能エネルギーの導入推進

<主な取組状況>

○県内の事業者に対して、循環型社会形成推進事業費補助金等による**未利用資源の活用**を促した。【環境局資源循環推進課】

○市町村に対して、**太陽光発電施設や家庭用エネルギー管理システム**といった**住宅用地球温暖化対策設備の導入支援**を行った。【環境局地球温暖化対策課】

第3 「あいち山村振興ビジョン2020」の総括

○「あいち山村振興ビジョン2020」の目標達成状況

- あいち山村振興ビジョン2020は、2020年度末をもって5年間の計画期間が終了したことから、目標（評価指標）の達成状況と成果・実績等について整理し、総括評価を行うこととします。
- あいち山村振興ビジョン2020では、2030年頃の地域の目指すべき将来像として「愛知の元気の源・豊かな山の暮らしの実現」を掲げ、「山里のひと・なりわいをつくる」・「地域資源を磨き上げる」・「安心・安全な地域社会をつくる」・「都市との絆を深める」・「持続可能な社会基盤を整備する」の5つの重点的施策を中心とした施策展開を行ってきました。
- あいち山村振興ビジョン2020において、目標の達成状況を図るための評価指標は以下のとおりです。

●「あいち山村振興ビジョン2020」における評価指標と達成状況

評価項目	評価指標	実績	評価 ^{※1}
山里のなりわい ⇒農起業支援センター等が支援する就農・起業者数	2020年度までに140人程度	累計：124人	B
地域資源の磨き上げ ⇒観光レクリエーション利用者数 ^{※2}	2020年に660万人程度	643万人 (2019年)	B
安心・安全な地域社会 ⇒三河の山里サポートデスク等による支援集落数	2020年度までに60集落程度に拡大	17集落 (2020年度)	C
都市との絆 ⇒三河の山里サポートデスク等を通じた移住者数	2020年度までに800人程度	累計：1,040人	A
交通基盤の整備・強化 ⇒山間部の暮らしや産業を支える道路供用延長	2020年度までに約11km増加	累計：8.6km	B
農地・森林の保全・整備 ⇒農地・森林の保全・整備面積 ^{※3}	2020年度に 農地900ha、森林4,000ha程度	農地：925ha 森林：3,050ha	農地：A 森林：B

※1 A…達成（目標値以上）、B…ほぼ達成（目標値の70%以上100%未満）、C…未達成（目標値の70%未満）

※2 「観光レクリエーション利用者数」は2019年の数値が現時点での最新データ。

※3 「農地・森林の保全・整備面積」は5年間の平均値。保全・整備活動は毎年度市町村からの要望によって事業を実施している。

- 「三河の山里サポートデスク等を通じた移住者数」（評価：A）については、目標 800 人程度（5 年間の累計）に対し実績 1,040 人となり、100%以上の達成率となっています。実際、一部地域では社会増の達成や年少人口が増加するなどの成果が見られます。
- また、「観光レクリエーション利用者数」（評価：B）は達成率が約 97%、「農起業支援センター等が支援する就農・起業者数」（評価：B）は達成率が約 89%といずれも高い水準となっており、おおむね目標を達成しています。
- 「農地・森林の保全・整備面積」（評価：A、B）は、一部目標をやや下回る指標があるものの、市町村の要望に対応しながら整備が進められていることから、おおむね順調に成果を上げているものと言えます。また、「山間部の暮らしや産業を支える道路供用延長」（評価：B）は、目標をやや下回るものの、関連する他工事等の遅れや用地買収の遅れ等により道路整備に遅れが生じたためであり、それが解消され次第、適切に改善が図られるものと考えます。
- 「三河の山里サポートデスク等による支援集落数」（評価：C）は目標を下回るものの、県の先導的取組をきっかけに、市町村による集落支援の実施へとつながったものもあることから、その意味において、地域全体としては望ましい成果が出ているものと考えます。
- その他、三河山間地域で活動する団体等が、過疎地域自立活性化優良事例表彰（主催：総務省及び全国過疎地域自立促進連盟（2021 年から全国過疎地域連盟に名称変更））において、それぞれ総務大臣賞、全国過疎地域自立促進連盟会長賞を受賞するとともに、総務省の「田園回帰」に関する調査研究会において取り上げられるなど、全国的にも優れた取組を実施しているという評価を得ています。

1. 山里のひと・なりわいをつくる

【施策展開の方向性】

地域特性を生かした農林水産業の振興を図っていくとともに、農商工連携や6次産業化等を促進し、生産物の高付加価値化や生産拡大の出口となる新たな販路の確保、特産品開発とその販路拡大にも取り組んでいく。

また、こうした産業の担い手の育成や起業支援など「ひとづくり」に一層取り組んでいくとともに、生活支援や観光振興、スポーツ大会の開催など地域課題や地域振興に取り組むNPOや企業等の活動促進を図っていくことにより、山里の暮らしや地域づくりと一体となった「なりわいづくり」を推進していく。

主な評価指標

評価指標	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	累計
農起業支援センター等が支援する就農・起業家数について ⇒2020年度までに140人程度	36人	24人	23人	19人	22人	124人

主な実績

◆優れたビジネスプランを持ち、三河山間地域で起業等に挑戦する人を「なりわい実践者[※]」と位置付け、**セミナー等を通じて支援**を行いました。2016年度から2020年度の5年間で**46名**を支援し、うち**43名**は現在も三河山間地域をフィールドとして活動中です。この「なりわい実践者事業」等により三河山間地域での起業活動が活発化しました。
※2018年までは「起業実践者」という名称を使用

◆**新規就農者の確保を図るため**、市町村、JA、その他関係機関などと連携して、就農相談会の開催や県内外で開催される**就農支援・相談ブースに出展**しました。

◆豊田市稲武地域では、副業・多業などを後押しする企業により、**新しい働き方が推進**されました。

● なりわい実践者の人数（年間10名以内）

	岡崎市	豊田市	新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
2020年	3	4	0	0	1	2	10
2019年	3	2	0	1	3	0	9
2018年	2	1	1	3	2	0	9
2017年	0	4	2	0	2	0	8
2016年	0	3	1	3	2	0	10 [※]
合計	8	14	4	7	10	2	46

※2016年度は活動拠点を三河山間地域全体としていた実践者が1名いたため、数値の合計が一致していない箇所がある

2. 地域資源を磨き上げる

【施策展開の方向性】

地域の魅力・ブランド力を高めていくため、観光振興やグリーンツーリズム、スポーツツーリズムなどを広域的に展開するとともに、三河山間地域の自然環境や生物多様性、また、鳥獣害対策・ジビエ料理の普及なども含めて、地域の自然や文化、歴史等の地域資源を磨き上げていく。

主な評価指標

評価指標	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年*
観光レクリエーション利用者数について ⇒2020年に660万人程度	780万人	680万人	660万人	643万人	

※2020年の利用者数は現時点で未公表

主な実績

- ◆ マスメディアやSNSを活用した情報発信、新東名高速道路開通や三遠南信自動車道延伸によるアクセス性向上により**観光レクリエーション利用者が増加**しました。
- ◆ 2018年3月に**一般社団法人奥三河観光協議会**が、地方公共団体と連携して観光地域づくりを担う法人である「**日本版DMO（現在の「登録DMO」）**」として**県内で初めて登録**されました。
- ◆ 奥三河地域の「美と健康」に着目したツーリズムブランド「**okumikawAwake/メザメ奥三河**」を2018年度に立ち上げ、地域資源の磨き上げを行うなど、**奥三河のブランド力を高める取組を実施**しました。
- ◆ 北設楽郡三町村（設楽町・東栄町・豊根村）で開催される**花祭**（国指定重要無形民俗文化財）の会場を周遊するバスを運行することで、**伝統文化の継承・発信に寄与**しました。

● 花祭周遊バス運行実績(2018年度から実施)

年度	回数	参加人数（人）	備考
2018	3	361	—
2019	2	261	—
2020	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響で花祭の開催が中止

3. 安心・安全な地域社会をつくる

【施策展開の方向性】

暮らしを支える消費生活や地域活動など生活基盤の確保・充実を始め、教育環境づくりや女性や高齢者の活躍促進、子育て支援、保健医療福祉サービスの充実を図っていくとともに、三河の山里サポートデスクを拠点とした集落間の連携強化を図りながら安心・安全な地域社会をつくっていく。

主な評価指標

評価項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
三河の山里サポートデスク等による 支援集落数 ⇒2020年度までに60集落に拡大	13集落	14集落	17集落	17集落	17集落

主な実績

- ◆都市地域から三河山間地域に移住し、地域活性化に貢献する**地域おこし協力隊の取組が充実**しました。同地域において2016年度から2020年度の5年間で**33名**の地域おこし協力隊が任命され、現在は**10名**の隊員が活動中です。
- ◆先導的に県が実施した**三河の山里サポートデスク**や**愛知県交流居住センター**による集落支援に加え、**市町村の集落支援の取組が充実**しました。
- ◆三河山間地域において路線バス等を運行する市町村等に対して、その**運行に要する経費の一部を補助**することで、**交通基盤の確保・維持**に努めました。
- ◆北設楽郡の中学校を卒業した知的障害のある生徒を対象とする**豊橋特別支援学校山嶺教室**において、**地域に根ざした特色ある教育を推進**しました。



三河の山里サポートデスクによる集落支援の様子

(新城市黄柳野地区：2019年度)

4. 都市との絆を深める

【施策展開の方向性】

「山里の魅力」を戦略的に創造・発信するとともに、矢作川や豊川の各流域圏交流の普及・拡大や三遠南信の連携強化、名古屋などの大都市との交流の活発化とあわせて交流居住や移住・定住の促進に積極的取り組み、多様な主体の連携のもとに都市との絆を深めていく。

主な評価指標

評価項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	累計
三河の山里サポートデスク等を通じた移住者数 ⇒2020年度までに800人程度	248人	220人	168人	206人	198人	1,040人

主な実績

- ◆三河の山里サポートデスクや愛知県交流居住センターを中心とした事業展開により、移住者が移住者を呼び込む好循環が醸成され、一部地域では転入者が転出者を上回る社会増を達成しました。また、小学校の生徒数を小学生以下の幼児数が上回っている地域もでてきています。
- ◆あいちUIJターン支援センターやふるさと回帰支援センターを通じて、首都圏等からのUIJターン希望者へ、個別相談や県内企業の求人情報、地域情報の提供を行うことで、本県への転入・就職の支援を実施しました。



愛知県交流居住センターによる
交流イベントの様子（2018年度）



あいちUIJターン支援センターによる
就職フェア出展の様子（2018年度）

5. 持続可能な社会基盤を整備する

【施策展開の方向性】

広域交通基盤の整備を始め公共交通の確保や情報通信基盤の拡充とICTの活用、農地・森林等の整備・保全を着実に推進するとともに、産業用地の開発と立地促進を戦略的に進め、防災・減災対策、再生可能エネルギーの導入などを一層推進していくことにより持続可能な社会基盤を整備していく。

主な評価指標

評価項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	累計
山間部の暮らしや産業を支える 道路供用延長について ⇒2020年度までに約11km増加	2.5km	3.3km	1.5km	0.5km	0.8km	8.6km
農地・森林の保全・整備面 積について ⇒2020年度に農地900ha、 森林4,000ha程度	農地	1,022ha	867ha	880ha	935ha	924ha
	森林	3,373ha	3,254ha	3,193ha	2,820ha	2,610ha

主な実績

- ◆国道151号（新城バイパス等）、国道301号（松平バイパス等）を始めとした基幹的な生活道路の整備により道路ネットワークが強化されました。
- ◆2019年に三遠南信自動車道（佐久間川合ICから東栄IC間）が開通し、アクセス性が向上しました。
- ◆毎年度市町村からの要望により農地や森林の適切な保全・整備が進んでいます。



間伐による森林整備（2020年度）



国道301号松平バイパス 松平トンネル 開通式
(2020年度)

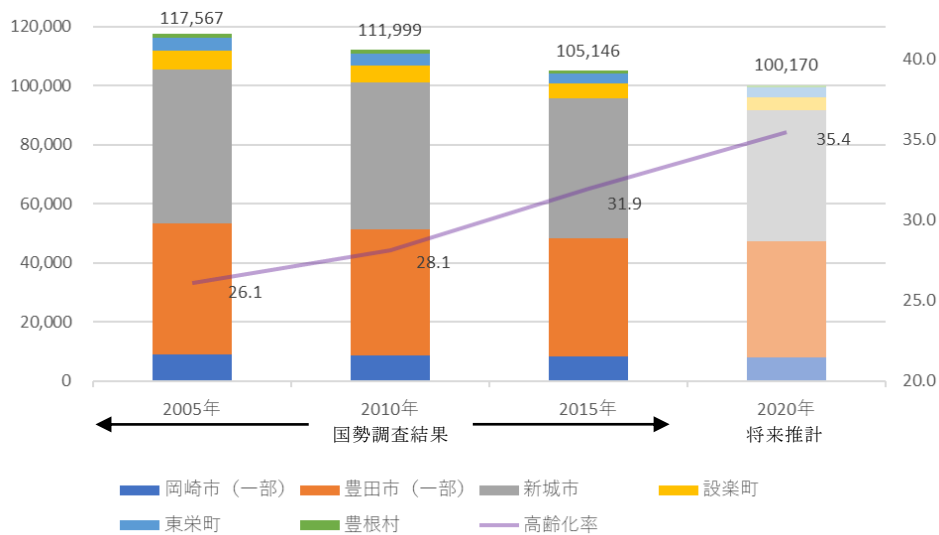
○データで見る計画期間中の変化

●三河山間地域の人口

市町村名	2016年4月	2021年3月	増減
岡崎市(一部)	8,321人	7,743人	△578人
豊田市(一部)	41,695人	36,939人	△5,056人
新城市	47,694人	44,151人	△3,543人
設楽町	5,193人	4,610人	△583人
東栄町	3,503人	3,035人	△468人
豊根村	1,192人	1,055人	△137人
山間地域全体	107,598人	97,233人	△10,365人
愛知県全体	7,486,471人	7,530,983人	44,512人
山間地域割合	1.43%	1.29%	△0.14%

出典：愛知県「愛知県人口動態調査結果」、三河山間地域市町村住民基本台帳

●三河山間地域人口・高齢化率推移・推計



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年推計）

※岡崎市は額田地区、豊田市は旭、稲武、下山、小原、足助、藤岡地区を対象範囲としている。

※岡崎市及び豊田市の2020年の推計値は、各種統計データをもとに年齢不詳者を除いた2015年値から推計した値

●三河山間地域人口動態結果

	社会増減 数(人)	転入(人)		転出(人)		その他の増減 (人)			
		うち県内	うち県外	うち県内	うち県外				
2016年度	岡崎市	1220	16,003	8,159	7,844	14,814	7,761	7,053	31
	豊田市	231	17,739	7,025	10,714	17,634	9,028	8,606	126
	新城市	-206	1,347	662	685	1,534	983	551	-19
	設楽町	-59	115	85	30	178	139	39	4
	東栄町	-32	67	42	25	96	59	37	-3
	豊根村	6	24	18	6	20	15	5	2
2017年度	岡崎市	1403	15,817	7,815	8,002	14,592	7,611	6,981	178
	豊田市	1334	18,715	7,155	11,560	17,569	9,193	8,376	188
	新城市	-281	1,430	730	700	1,700	1,088	612	-11
	設楽町	-59	109	72	37	171	134	37	3
	東栄町	-64	83	53	30	140	87	53	-7
	豊根村	4	43	24	19	39	27	12	0
2018年度	岡崎市	1018	16,707	8,050	8,657	15,568	8,222	7,346	-121
	豊田市	-321	18,530	7,574	10,956	18,703	9,655	9,048	-148
	新城市	-212	1,416	736	680	1,606	993	613	-22
	設楽町	-27	117	79	38	140	108	32	-4
	東栄町	-30	77	52	25	102	66	36	-5
	豊根村	-21	38	18	20	59	35	24	0
2019年度	岡崎市	323	16,930	8,118	8,812	16,367	8,703	7,664	-240
	豊田市	70	19,426	7,930	11,496	19,167	9,667	9,500	-189
	新城市	-232	1,427	653	774	1,644	1,004	640	-15
	設楽町	-36	110	80	30	146	110	36	0
	東栄町	4	90	58	32	78	52	26	-8
	豊根村	-10	25	16	9	42	29	13	7
2020年度	岡崎市	-1385	13,846	7,552	6,294	15,196	8,269	6,927	-35
	豊田市	-3201	15,397	7,052	8,345	18,579	9,938	8,641	-19
	新城市	-307	1,216	681	535	1,533	956	577	10
	設楽町	-3	111	83	28	120	80	40	6
	東栄町	-20	61	37	24	79	48	31	-2
	豊根村	-7	31	22	9	39	27	12	-15

出典：愛知県県民文化局県民生活部統計課「あいちの人口（年報）」

※岡崎市及び豊田市は全域

※その他の増減は職権記載や職権消除等

●三河山間地域の財政力指数

区分	2016	2017	2018	2019	2020
岡崎市	1.00	1.01	1.02	1.03	1.03
豊田市	1.30	1.52	1.49	1.47	1.44
新城市	0.60	0.59	0.58	0.57	0.55
設楽町	0.24	0.23	0.23	0.24	0.24
東栄町	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19
豊根村	0.25	0.25	0.25	0.26	0.28

出典：愛知県総務局市町村課「愛知県内市町村の財政状況資料集」

※岡崎市及び豊田市は全域

※財政力指数は地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を

基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。

●三河山間地域における学校の状況

	市町村名	岡崎市								豊田市				新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計									
2016年度	小学校	学校数	5	4	3	10	2	2	1	22	14	5	1	1	48			
		学級数	28	50	21	49	13	12	7	152	126	28	8	8	350			
		児童数(人)	378	1130	138	339	134	79	82	1902	2258	154	110	54	4856			
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18			
		学級数	9	26	4	8	7	4	4	53	57	8	5	5	137			
		生徒数(人)	218	667	95	173	115	56	51	1157	1328	99	60	28	2890			
	高等学校	学校数		1		1				2	4	1			7			
		学級数		8		9				17	29	6			52			
		生徒数(人)		283		257				540	1226	135			1901			
	市町村名	岡崎市								豊田市				新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計									
2017年度	小学校	学校数	5	4	3	10	2	2	1	22	14	5	1	1	48			
		学級数	33	48	20	49	14	13	7	151	124	30	8	7	353			
		児童数(人)	399	1138	127	352	120	75	75	1887	2255	161	111	43	4856			
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18			
		学級数	8	26	4	9	7	4	4	54	53	8	4	5	132			
		生徒数(人)	202	655	83	172	105	53	44	1112	1203	84	48	29	2678			
	高等学校	学校数		1		1				2	4	1			7			
		学級数		9		9				18	28	6			52			
		生徒数(人)		317		260				577	1148	135			1860			
	市町村名	岡崎市								豊田市				新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計									
2018年度	小学校	学校数	5	4	3	10	2	2	1	22	13	5	1	1	47			
		学級数	29	51	21	49	12	15	7	155	125	29	8	5	351			
		児童数(人)	354	1119	132	354	117	77	65	1864	2193	153	116	35	4715			
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18			
		学級数	9	24	5	9	6	4	4	52	54	8	4	5	132			
		生徒数(人)	212	598	78	159	106	48	46	1035	1171	84	52	28	2582			
	高等学校	学校数		1		1				2	4	1			7			
		学級数		9		9				18	28	6			52			
		生徒数(人)		278		243				521	1066	120			1707			
	市町村名	岡崎市								豊田市				新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計									
2019年度	小学校	学校数	5	4	3	10	2	2	1	22	13	5	1	1	47			
		学級数	28	52	21	53	12	11	6	155	130	27	8	4	352			
		児童数(人)	343	1087	142	354	114	83	66	1846	2170	164	115	31	4669			
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18			
		学級数	8	24	5	8	5	4	4	50	53	8	4	5	128			
		生徒数(人)	198	596	64	173	92	38	41	1004	1137	75	54	31	2499			
	高等学校	学校数		1		1				2	5	1			8			
		学級数		9		9				18	22	6			46			
		生徒数(人)		242		240				482	1007	94			1583			
	市町村名	岡崎市								豊田市				新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計									
2020年度	小学校	学校数	5	4	3	10	2	2	1	22	13	5	1	1	47			
		学級数	28	52	21	53	12	11	6	155	130	27	8	4	352			
		児童数(人)	333	1069	140	364	110	86	65	1834	2125	165	113	28	4598			
	中学校	学校数	1	1	2	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18			
		学級数	8	23	4	8	5	5	4	49	51	10	5	4	127			
		生徒数(人)	196	576	51	168	92	44	33	964	1143	78	62	23	2466			
	高等学校	学校数		1		1				2	5	1			8			
		学級数		7		7				14	22	6			42			
		生徒数(人)		196		228				424	930	74			1428			

出典：愛知県教育委員会「学校一覧」

※私立高等学校の学級数は未公表のため、公立高等学校の学級数のみ記載。

あいち山村振興ビジョン 2020 年次レポート

(2021 年度 (令和 3 年度) 版)

2021 年 (令和 3 年) 7 月

愛 知 県

山村振興推進本部 (総務局総務部市町村課地域振興室)

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電話 052-954-6097 (ダイヤルイン)

ファクシミリ 052-954-6981

電子メール chiiki-shinko@pref.aichi.lg.jp

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shichoson/>